

報告事項-1

平成 28 年度（公社）日本地すべり学会 事業報告

1. 総務部

(1) 行事

① 通常社員総会の開催

- ・日時：平成 28 年 6 月 17 日
- ・場所：学術総合センター内 一橋大学一橋講堂

② 理事会の開催

- ・平成 28 年 5 月 20 日、6 月 17 日、8 月 22 日、11 月 25 日、平成 29 年 3 月 14 日
- ・電磁的記録による理事会審議：平成 28 年 11 月 11 日～18 日、平成 29 年 1 月 12 日～19 日

③ 執行部会の運営事務

- ・平成 28 年 5 月 11 日、6 月 6 日、7 月 4 日、7 月 19 日、11 月 10 日、平成 29 年 2 月 24 日

④ 代議員選挙の運営事務

- ・Web 投票の検討：平成 28 年 10 月 25 日
- ・代議員選挙管理委員会：（第 1 回）平成 28 年 12 月 12 日、（第 2 回）平成 29 年 3 月 27 日
- ・選挙公告：2 月 17 日、投票締め切り：3 月 21 日、開票：3 月 27 日

⑤ 若手対策事業の実施（シニアクラブと共催）：平成 28 年 8 月 25 日～26 日

(2) 庶務

- ・社員総会、理事会及び執行部会に係る議事資料及び議事録の作成
- ・規則及び細則の改訂（平成 28 年 5 月 20 日理事会（研究委員会助成細則及び受託業務取扱細則）、平成 28 年 8 月 22 日理事会（支部運営細則及び就業細則）、平成 29 年 3 月 14 日理事会（規則、特別研究員細則、公的試験研究費等の管理・監査細則）
- ・公的試験研究費等の不正使用防止に係る基本方針、計画及び行動規範の制定

(3) 財務

- ・予算執行状況の確認
- ・決算書及び予算書の作成
- ・特別費用準備金の創設

(4) 広報

- ・学会ホームページ及び Facebook ページ内容の更新及び内容の検討
- ・会員管理システムの維持と情報発信の促進
- ・解説委員会の設置

(5) 部会

- ・メール審議（随時）

2. 事業計画部

(1) 平成 28 年度総会及びシンポジウムの開催

- ・日 程：平成 28 年 6 月 17 日
- ・会 場：一橋大学一橋講堂
- ・テーマ：地すべり研究・対策技術を国際協力に生かすために
- ・意見交換会：一橋大学一橋講堂
- ・参加人数：126 名

(2) 第 55 回研究発表会及び現地見学会の開催

① 県民講演会

- ・日 程：平成 28 年 8 月 22 日
- ・会 場：高知県立県民文化ホール
- ・参加人数：225 名

② 特別講演・研究発表会・意見交換会

- ・日 程：平成 28 年 8 月 23 日～8 月 24 日
- ・会 場：高知県立県民文化ホール
- ・参加人数：497 名（内、意見交換会参加は 400 名）

③ 現地見学会

- ・日 程：平成 28 年 8 月 25 日
- ・見学コース：A コース：小島地すべり、平鍋土石流、室戸世界ジオパーク
B コース：長者、高瀬地すべり
C コース：西川、怒田・八畝、鏡的淵地すべり、天崎トンネル
- ・参加人数：76 名

(3) 2016 年最近の地すべり・土石流災害調査報告会の開催

- ・日 程：平成 28 年 11 月 25 日
- ・会 場：DAYS 赤坂見附 3A 会議室
- ・研究調査部と共催

(4) 部会の開催

- ・日 程：平成 28 年 4 月 8 日、6 月 6 日、8 月 23 日、10 月 20 日、12 月 5 日、平成 29 年 2 月 6 日
- ・平成 28 年度シンポジウムの準備と総括、平成 29 年度シンポジウムの準備
日程、会場、テーマ、話題、進行の検討
- ・第 55 回研究発表会の準備と総括、第 56 回研究発表会の準備
日程、会場、予算、投稿方法、セッション、企画、講演集、参加申込システムの検討

3. 編集出版部

(1) 日本地すべり学会誌編集委員会

- ① 編集委員会の開催 平成 28 年 4 月～29 年 3 月まで 12 回開催(月 1 回)
- ② 日本地すべり学会誌 Vol. 53. 3～54. 2 計 6 号
 - ・ 特集号「すべり面の構造と認定方法」
 - ・ 特集号「無人飛行機や SfM を用いた地すべりの特徴の把握」
 - ・ 特集号「災害対応事例とその教訓」

- ・ シリーズ：「空から見る日本の地すべり地形」の継続
- ・ シリーズ：「新用語集 地すべりキーワード 101」の継続
- ・ 賛助会員による「わが社の技術」の継続

③技術報告賞および査読者賞の候補者の推薦

④投稿規定等の改訂

- ・ 「研究ノート」区分の定義および制限ページ数の改訂
- ・ 「技術報告」区分の査読者数の改訂
- ・ 共著者数制限の改訂

⑤投稿時の著作物利用許諾確認（投稿票の改訂）

(2) 出版委員会

①委員会の開催

- ・ 第1回：平成28年6月27日

②販売図書管理について本年度計画作成、宣伝活動

③アマゾンでの試験販売開始(10月6日より)

④Landslides in Japan のホームページ公開準備（第1～6版）、寄贈用図書の指定（第7版）

⑤普及版「すべり面」の少量部数印刷

4. 研究調査部

(1) 研究助成

平成28年度の助成対象は継続1件(A)、新規1件(B)である。

A 斜面モニタリング技術を用いた危険度評価手法に関する研究

代表 酒井直樹・・・3年目(最終年度)

B 黒部峡谷の地形形成史と斜面防災への適用

代表 柏木健司・・・1年目

Aの委員会は今年度が最終年度であるため、学会Web上で新規案件の公募を開始した(平成29年3月8日)。

(2) 地すべり・土石流災害調査報告会

平成28年度に実施した緊急災害調査等の内容について地すべり・土石流災害調査報告会を開催した。日程等は以下の通りである。

- ・ 日時：平成28年11月25日15時00分～17時00分
- ・ 場所：DAYS 赤坂見附 3A 会議室
- ・ 報告内容：

開会あいさつ (笹原克夫)

平成28年8月、9月の豪雨による北海道の斜面災害 (石丸聡)

平成27年9月関東東北豪雨による土砂災害 (若井明彦)

平成28年熊本地震崩壊・地すべりの2次調査報告 (中村真也)

GISによる平成28年熊本地震阿蘇地域における斜面崩壊の地形、地質的特徴について (岩部司)

総合討論

(3) 斜面防災技術国際化小委員会

斜面防災事業の国際化に対応するため研究調査部の活動の一環として「斜面防災技術国際化小委員会」を平成 27 年度に設置し、3 年間の予定で活動を開始した。平成 27 年度に 3 回委員会を開催し、今年度も 3 回委員会を開催して、まずは日本国内の地すべり対策工の設計の技術基準等のとりまとめ及び問題点の抽出と、海外の基準の整理を行っている最中である。

各委員の作業成果とりまとめのために、平成 28 年度は 4 月 27 日、8 月 24 日、11 月 25 日、3 月 14 日の 4 回の委員会を開催した。

(4) 地すべり対策計画技術に関する研究会の活動

平成 26 年度に地すべり対策技術の継承と若手育成に対応するため研究調査部の活動の一環として「地すべり対策計画技術に関する研究会(仮名)」が設置された。平成 27 年度には 1 回研究会を開催したが、平成 28 年度には開催していない。

(5) 研究調査部会

研究調査部会を以下の通り開催した。

- ・日時：平成 28 年 8 月 22 日 12 時 30 分～14 時 00 分
- ・場所：高知県民文化ホール 4 階第 7、8 多目的室（高知市本町 4 丁目 3-30）

5. 国際部

(1) 平成 28 年度第 1 回会合開催 出席：10 名

（平成 28 年 8 月 24 日、高知県立文化ホール第 7 多目的会議室）

(2) ICL 等の参画と各種協力

- ・ ICL 総会出席対応 平成 28 年 10 月 28 日、平成 29 年 1 月 26 日
- ・ WCoE、IPL 関連業務への対応
- ・ 国際フォーラムへの ICL バックアップ
「地すべり災害リスク軽減への日本の貢献」
平成 28 年 11 月 24 日、TKP 東京大手町コンファレンスセンター

(3) 今後の活動検討

- ①WLF5 に向けた ICL 小委員としての参画
- ②海外とのジョイントミーティング
- ③SATREPS 総括シンポジウムの開催

(4) 日本地すべり学会の出版物の ICL 経由の宣伝方法検討

(5) 研究調査部会の「技術指針の国際対応」委員会との連携

6. 表彰委員会

(1) 学会賞（論文賞・技術報告賞・査読者賞・研究奨励賞・谷口賞・国際賞・その他の賞）の審査

- ・会誌（Vol. 52(6) 公示）で推薦公募、締め切り：平成 28 年 3 月 1 日
- ・表彰委員会審議
論文賞：該当無し、技術報告賞：岡本隆、永田秀尚、査読者賞：吉松弘行、
研究奨励賞：該当なし、谷口賞：該当なし、国際賞：該当なし

(2)理事会へ表彰委員会の審議結果を報告し審議：平成28年5月20日

(3)第55回日本地すべり学会研究発表会の表彰式で表彰状授与：平成28年8月23日

7. 会員数対策WG

(1)若手対策WG

若手対策事業の実施（関東シニアクラブと共催）

- ・高知研究発表会での企画（8月25～26日）
打ち合わせ：平成28年6月20日、8月4日、8月24日
- ・高知研究発表会での企画（8月25～26日）
事前調査：平成28年6月1～2日、7月26～27日
- ・高知県北川村小島地区の踏査及び討論会：平成28年8月25～26日（若手参加者16名）
- ・同上反省会：9月26日

(2)シニア対策WG

- ・平成28年4月8日、7月24日、10月9日：関東シニアクラブ（以下「関東SC」という）運営会
- ・平成28年5月21日：関東SC談話会（講師：古谷尊彦先生、小俣新重郎氏、参加者22名）
- ・平成28年8月24日：次年度ベトナム巡検計画打ち合わせ
- ・平成28年8月25～26日：若手WGとの協力企画（高知県北川村小島地区の踏査及び討論会若手参加者16名）
- ・平成28年9月26日：同上反省会
- ・平成28年10月13日：少林山巡検打ち合わせ
- ・平成28年10月29日：少林山事前調査
- ・平成28年11月19日：少林山巡検（参加者11名）

8. 受託

- ・研究名称：局地的大雨による大規模表層崩壊発生機構の解明と危険地抽出技術の開発
- ・発注者：国土交通省 国土技術政策総合研究所
- ・研究期間：平成28年8月24日～平成29年3月10日
- ・受託額：9,221,646円
- ・研究メンバ：後藤聡、檜垣大助、若井明彦、福岡浩、林信太郎、佐藤剛、酒井直樹、落合博貴

9. 北海道支部

(1)総会、特別講演、研究発表会

- ・日 時：平成28年4月28日
- ・参加者：174名（会員48、一般参加126）
- ・場 所：北海道大学学術交流会館（札幌市）
- ・特別講演：研究発表会：特別講演（1件）、研究発表（7件）
『謎の隆起？のメカニズムー越後高田、今金住吉、羅臼幌萌そして・・・』
（株式会社ドーコン 環境事業部 技術顧問 田近淳 氏）

(2)第1回運営委員会

- ・日 時：平成28年6月27日

- ・参加者：31名
- ・場所：TKP 札幌ビジネスセンター（札幌市）
- ・会議内容：平成 28 年度事業計画・実施状況、予算、会員状況、本部動向、その他

(3) 第 2 回運営委員会

- ・日時：平成 29 年 1 月 20 日
- ・参加者：29 名
- ・場所：北海道大学 学術交流会館 第 4 会議室（札幌市）
- ・会議内容：平成 28 年度事業報告・決算見込み報告、平成 29 年度 事業計画・予算(案) 本部動向、その他（代議員選挙、災害緊急調査の対応、対外活動、学会内体制）

(4) 巡検部活動

現地検討会「変質帯における地すべりの地質的成因とその対策」

- ・日時：平成 28 年 9 月 16 日
- ・参加者：20 名
- ・見学地：小樽市「小樽定山溪線 H19 災害現場」「小樽定山溪線第一ヘアピン周辺」など
- ・案内者：明治コンサルタント株式会社 坪山厚実氏、植松聡氏
- ・共催：北海道地すべり学会、(一社) 斜面防災対策技術協会北海道支部
- ・協賛：北海道地質調査業協会、北海道地すべり防止工事士会

(5) 広報部活動

- ・研究発表会予稿集編集（4 月）、ホームページ運営、各種広報活動（通年）

(6) 技術普及部活動

第 1 回 技術講習会

- ・日時：平成 28 年 6 月 20 日
- ・参加者：54 名
- ・場所：自治労会館中ホール（札幌市）
- ・講習内容：『地すべり調査（地すべり平面図作成）方法』（大地コンサルタント(株) 寺井康文氏）
『地すべり踏査方法と実例』（(有)地盤工房 中村研氏）
『演習 地すべり地形判読』（(有)地盤工房 中村研氏、(株)開発調査研究所 磯貝晃一氏、(有)北海化成工業所 伊吹敦氏、(株)ダイヤコンサルタント 渡辺一樹氏、大地コンサルタント(株) 寺井康文氏、応用地質(株) 本間宏樹氏）

第 2 回 技術講習会

- ・日時：平成 29 年 1 月 13 日
- ・参加者：27 名
- ・場所：自治労会館中ホール（札幌市）
- ・講習内容：『地すべり機構解析と安定解析』（応用地質(株) 本間宏樹氏）
『地すべり対策工』（北海道三祐(株) 佐々木裕一氏）
『地すべり対策事例と留意点』（防災地質工業(株) 雨宮和夫氏）

『安定解析ソフト（Power SSA 等）の紹介－ネット中継－』（五大開発（株） 関家史郎氏）

『演習 地すべり安定解析』（大地コンサルタント（株） 寺井康文氏）

(7) 企画委員会活動

企画委員会

- ・日 時：平成 29 年 1 月 10 日
- ・参加者：4 名
- ・場所：TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前 会議室（札幌市）
- ・内容：①市民を対象とした地すべり災害普及活動の実施方針について
②平成 29 年度の企画委員会活動について

地すべり防災授業『山地防災教育 野外巡検』（高校への出前授業及び普及活動）

- ・日 時：平成 28 年 6 月 7 日
- ・対象：北海道岩見沢農業高校森林科学科 3 年生 40 名、教職員 4 名
- ・場所：当別町、月形町（道民の森神居尻地区、国道 451 号、当別川流域）
- ・授業内容：
 - ・治山施設を観察し、その重要性や設計の考え方を学習
 - ・地すべり地形変状等を観察し、地すべり発生メカニズムを学習
 - ・地すべり観測機器と地すべり対策工（アンカー工等）を見学し実務面を学習
 - ・当別川流域の新第三紀堆積岩等の露頭観察、地形地質の成り立ちを学習

山地防災キャンペーンへの参加（主催：北海道水産林務部林務局治山課）

- ・日 時：平成 28 年 6 月 16 日、17 日
- ・対象：一般市民
- ・場所：北海道庁 1 階ロビー（札幌市）
- ・内容：斜面災害の現象や行政の取り組みに関する啓発活動
地すべり模型を展示・実演する形で参加

ジオ・フェスティバル in Sapporo 2016 での地すべり模型を展示・実演

（主催：ジオ・フェスティバル実行委員会）

- ・日 時：平成 28 年 10 月 1 日
- ・対象：一般市民（300 名来場）
- ・場所：札幌市青少年科学館（札幌市）
- ・内容：主に子供たちを対象とし、地球科学、環境、自然、災害に興味を持ってもらうための普及活動。地すべり模型を展示・実演する形で参加。

地すべり模型の貸し出し

- ・平成 28 年 4 月 21 日（一社）斜面防災対策技術協会（東京）に地すべり模型を貸し出し、宮城県南三陸町立歌津中学校 3 年生（女子 4 名、男子 1 名）の防災学習に利用された。

(8) 技術委員会活動

第 1 回技術委員会

- ・日 時：平成 28 年 4 月 15 日
- ・参加者：29 名
- ・場 所：松崎南 1 条ビルディング 2F 会議室（札幌市）
- ・内 容：話題提供
『羅臼幌萌地すべりの海岸隆起体の形成機構』
（国土防災技術北海道(株) 足立辰也氏）
：討議 委員会活動について

第 2 回技術委員会

- ・日 時：平成 29 年 2 月 10 日
- ・参加者：10 名
- ・場 所：松崎南 1 条ビルディング 2F 会議室（札幌市）
- ・内 容：話題提供
『内陸地震が起こす地すべり：2016 年熊本地震』（(株)ドーコン 田近淳氏）
：討議 委員会活動について

(9) 研究委員会活動

第 1 回研究委員会

- ・日 時：平成 28 年 12 月 2 日
- ・参加者：46 名
- ・場 所：北海道大学農学部 総合研究棟 W109（札幌市）
- ・内 容：『2016 年に発生した地すべり・崩壊・土石流災害報告会』
「熊本地震による地すべり」 ((株)ドーコン 田近淳氏)
「2016 年 8 月、9 月の豪雨による道内の斜面災害」
((地独)北海道立総合研究機構地質研究所 石丸聡氏)
「2016 年 8 月～9 月大雨による北海道羅臼町の海岸沿いでの地すべり災害」
((国法)北見工業大学社会環境工学科 伊藤陽司 准教授)
「道道知床公園羅臼線 海岸町地区斜面崩壊の現地体験と現場対応」
((株)開発調査研究所 原田卓弘氏)
「国道 274 号日勝峠日高側の斜面崩壊と地形」
((国法)土木研究所寒地土木研究所 倉橋稔幸氏)
「日勝峠・狩勝峠の斜面崩壊と周氷河斜面堆積物」
(防災地質工業(株) 雨宮和夫氏)
「ペケレベツ川（日勝峠～十勝清水）の地形変化」
((国法)北海道大学大学院農学研究院 笠井美青氏)
：報告・討議 地すべり活動度評価について

台風災害調査の実施 (1)

- ・日 時：平成 28 年 8 月 30 日～9 月 1 日
- ・参加者：6 名
- ・場 所：知床半島羅臼町の斜面崩壊箇所
- ・内 容：北海道水産林務部、根室振興局、道立総合研究機構地質研究所、北見工業大学

により現地調査を実施。

台風災害調査の実施（2）

- ・日 時：平成 28 年 9 月 23 日、24 日
- ・参加者：12 名
- ・場 所：日高山脈の日勝・狩勝峠の災害発生箇所
- ・内 容：道路管理技術委員会の調査に同行する形で、北海道開発局との連携協定に基づき、地盤工学会北海道支部と合同調査を実施。

災害調査報告 平成 28 年 10 月 7 日（北海道大学学術交流会館 札幌市）

平成 28 年 11 月 25 日（日本地すべり学会本部主催の災害調査報告会 東京赤坂）

(10)5 学会連絡会 第 2 回定例会

- ・日 時：平成 29 年 1 月 6 日
- ・参加者：15 名（土木学会、地盤工学会、砂防学会、農業農村工学会、日本地すべり学会の北海道支部の役員および事務局）
- ・場 所：札幌エルプラザ 札幌市男女共同参画センター 4 階 大研修室 A（札幌市）
- ・内 容：各支部の平成 28 年度活動報告及び平成 29 年度活動概要について
各支部の北海道豪雨による災害等の対応について
今後の重大災害発生時の連絡体制について

10. 東北支部

(1) 支部総会（平成 28 年 4 月 25 日 仙台市戦災復興記念館 参加者 65 名）

(2) 支部シンポジウム（平成 28 年 4 月 25 日 仙台市戦災復興記念館 161 名）

- ① テーマ：積雪・融雪と地すべり ―その不思議な挙動の解明と危険度予測を目指して―
- ② 基調講演：松浦純生氏（京都大学防災研究所）
季節積雪層と斜面変動の相互作用を考える
- ③ 講演
 - ・ 佐藤壽則氏（(株) 日さく）
新潟県の地すべりの積雪期における運動特性と水文環境
 - ・ 柴崎達也氏（国土防災技術（株））
寒候期の地すべり面の力学特性に影響を及ぼす諸要因
 - ・ 岡本隆氏（森林総研東北支所）
豪雪地域の地すべりに及ぼす積雪荷重の影響
 - ・ 細谷健介氏（新和設計（株））
積雪～融雪時期の融雪水浸透における地下水位への影響についての一考察
 - ・ 大村泰氏（奥山ボーリング（株））
積雪期前に活発化する地すべりの諸要因について
 - ・ 総合討論 司会 岡本隆氏（森林総研東北支所）、渡辺修氏（(合) 水文企画）
- ④ 意見交換会：グランテラス仙台国分町 参加 69 名

(3) 支部役員会・運営委員会・幹事会

- ① 第1回拡大幹事会 (平成28年9月14日 仙台市 東北工大一番町ロビー 22名)
- ② 幹事会 (平成28年10月14日 福島県 つきみが丘町民センター 8名)
- ③ 第2回拡大幹事会 (平成29年2月15日 仙台市 東北工大一番町ロビー 21名)
- ④ 拡大運営委員会 (平成29年3月16日 仙台市 東北学院大サテライトステーション 15名)

(4) 地すべり現地検討会の開催 (平成28年10月13日～14日)

- ① 場 所：福島県 「滝坂地すべり」
- ② テーマ：「大規模地すべりにおける諸問題とその対応
ー地形地質から見た地すべりの発生機構についてー」
- ③ 参加者：42名
- ④ 検討会：福島県柳津町 つきみが丘町民センター

(5) 東北支部ワーキンググループ「斜面変動研究の次世代コロキウム」の開催

- ① 趣旨：支部若手技術者を対象とした地すべりに対する着眼点、技術レポートの書き方などについての勉強会とし、技術交流を図りながら、最終的には学会誌への投稿を目指す。
- ② 開催日：2ヶ月毎に開催し、合計6回開催
(5月13日、7月22日、9月30日、11月25日、1月27日、3月11日)
- ③ 参加者：20名
- ④ 会 場：東北学院大サテライトステーション
- ⑤ 世話人：宮城豊彦氏(東北学院大)、濱崎英作氏((株)アドバンテクノロジー)
阿部真郎氏(奥山ボーリング(株))、支部事業企画委員会

(6) 社会貢献等

- ① 宮城県砂防ボランティア協会への講師派遣
 - ・ 期日：平成28年5月18日
 - ・ 講師：押見和義氏((株)復建技術コンサルタント) 「土砂災害点検時の着眼点」
- ② 山形県立山形中央高校への出前講座(山形大学出張講座と共催)
 - ・ 期日：平成29年2月21日 15:40～17:40
 - ・ 場所：山形県立山形中央高校
 - ・ 講師：八木浩司氏(山形大学)、奥山武彦氏(山形大学)、鈴木真悟氏(奥山ボーリング(株))

(7) 広報活動等

- ① 支部だより第27号の発行 (平成28年12月)
- ② 支部ホームページによる情報発信
 - ・ 東北支部関連(幹事会、運営委員会など)
 - ・ 各種事業開催案内ほか

11. 新潟支部

(1) 平成28年度支部総会

- ・ 開催日：平成28年5月13日
- ・ 場 所：新潟県民会館小ホール (新潟市)

(2)第44回地すべりシンポジウム

- ・主 催：(公社)日本地すべり学会新潟支部
- ・共 催：(公社)地盤工学会 北陸支部
- ・後 援：新潟県、(一社)新潟県地質調査業協会、(一社)斜面防災対策技術協会新潟支部、新潟県地すべり防止工事士会
- ・開催日：平成28年5月13日
- ・場 所：新潟県民会館小ホール(新潟市)
- ・テーマ：地震時地すべりの研究動向と対応計画
- ・参加者：85名

(3)支部共催行事

- ・主 催：(一社)日本応用地質学会北陸支部
- ・共 催：(公社)日本地すべり学会新潟支部、(公社)日本技術士会北陸支部、富山県立山カルデラ砂防博物館
- ・後 援：(公社)地盤工学会北陸支部、北陸地質調査業協会、新潟応用地質研究会、(一社)斜面防災対策技術協会新潟支部、新潟県地すべり防止工事士会
- ・開催日：平成28年9月27日～28日
- ・場 所：富山県立山カルデラ周辺
- ・内 容：立山カルデラ地形・地質観察、ノンテクトニック地質構造講演会
- ・参加者：24名

(4)新潟県地すべり災害記録CD改訂版の出版

平成28年5月13日、2016年版を出版(平成27年に発生した地すべり災害記録を追加)

(5)新潟支部ホームページの管理・運営

支部の活動、行事、出版物等の情報を発信

(6)新潟県地すべり対策研究会への参加

平成29年1月26日、技術部会(新潟市)、支部から3名参加

平成29年3月22日、総会及び技術部会(新潟市)、支部から2名参加

(7)会議記録(執行部会)

第1回 平成28年12月20日、18名出席

12. 関東支部

(1)総会

平成28年5月12日 11:00～12:00

東京大学武田先端知ビル 武田先端知ホール(東京都)

出席者数30名 委任状数90名 計120名(定足数81名以上)

(2)創立10周年記念シンポジウム

平成 28 年 5 月 12 日 12:45～17:00

東京大学武田先端知ビル 武田先端知ホール（東京都）

参加者：107 名

記念講演：土砂移動現象把握のための陸域観測技術衛星データの利用

土屋智（静岡大学）

シンポジウム「変わりゆく豪雨災害」

講演－近年の豪雨災害－

- ・平成 25 年台風 26 号による伊豆大島豪雨災害 後藤聡（山梨大学）
- ・平成 27 年 9 月関東・東北豪雨における災害 日本地すべり学会関東支部災害調査団
若井明彦（群馬大学）

講演－対応技術－

- ・雨量観測は新時代へー先端的気象レーダーによる降雨観測－
岩波越（防災科学技術研究所）
- ・茨城県大会で実施した崩壊実験の報告 関東支部斜面モニタリング研究会
酒井直樹（防災科学技術研究所）
小野田敏（アジア航測(株)）
納谷宏（明治コンサルタント(株)）
大川内正樹（(株)オサシテクノス）
小林剛（応用地質(株)）
- ・総合討論(コーディネータ：落合博貴)
- ・概要集発行

(3)意見交換会

平成 28 年 5 月 12 日 17:30～19:30

東京大学山上会館 1 階（東京都）

参加者：54 名

(4)現地検討会

① 第 1 回現地検討会－富士山の雪崩災害－

平成 28 年 5 月 10 日

山梨県富士吉田市、鳴沢村

協力：山梨県富士東部建設事務所

講師：上石勲（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）

参加人数：14 名（正会員 6 名、非会員 8 名）

② 第 2 回現地検討会－平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害 白石川地区－

平成 28 年 10 月 27 日

栃木県日光市白石川地区

協力：栃木県環境森林部

参加人数：21 名（学生 9 名）

(5)（一社）斜面防災対策技術協会との共催事業

群馬県戸室地すべり合同見学会

平成 28 年 11 月 17 日

群馬県吾妻郡高山村尻高地内

主催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部、(一社) 斜面防災対策技術協会 関東支部

協力：群馬県県土整備部砂防課、中之条土木事務所

参加者：51 名 (学生 9 名)

(6) 運営委員会・幹事会

① 運営委員会

- ・ 第 1 回 平成 28 年 4 月 15 日 ダイヤコンサルタント会議室 (東京都) 出席者 17 名
- ・ 第 2 回 平成 28 年 12 月 2 日 ダイヤコンサルタント会議室 (東京都) 出席者 16 名

② 幹事会

- ・ 第 1 回 平成 28 年 4 月 15 日 ダイヤコンサルタント会議室 (東京都) 出席者 13 名
- ・ 第 2 回 平成 28 年 6 月 6 日 ダイヤコンサルタント会議室 (東京都) 出席者 14 名
- ・ 第 3 回 平成 28 年 7 月 12 日 日本工営会議室 (東京都) 出席者 13 名
- ・ 第 4 回 平成 28 年 9 月 9 日 ダイヤコンサルタント会議室 (東京都) 出席者 12 名
- ・ 第 5 回 平成 28 年 12 月 2 日 ダイヤコンサルタント会議室 (東京都) 出席者 15 名
- ・ 第 6 回 平成 29 年 3 月 14 日 日本工営会議室 (東京都) 出席者 8 名

(7) 災害時における調査の相互協力に関する協定

平成 29 年 3 月 21 日

群馬県環境森林部と「災害時における調査の相互協力に関する協定」締結

(8) 広報活動等

- ・ 関東支部 Web ページ更新

(9) 平成 32 年度研究発表会の準備

- ・ 開催時期等の検討 (意見集約を含む)

13. 中部支部

(1) 運営委員会

- ・ 平成 28 年 4 月 20 日 T0iG0 長野市生涯学習センター(長野市)
- ・ 出席者：15 名

(2) 支部総会及び特別講演

- ・ 平成 28 年 4 月 20 日
- ・ 場所：T0iG0 長野市生涯学習センター(長野市)
- ・ 演題 1 「災害と防災のための心理学」
- ・ 講師：信州大学人文学部 教授 菊池聡 氏(信州大学地域防災減災センター長)
- ・ 演題 2 「神城断層地震関連八方岩地区 地すべり対策工事について」
- ・ 講師：長野県姫川砂防事務所長 湯沢秀人 氏
- ・ 演題 3 「栄村中条川で発生した深層崩壊・土石流災害と対策の経過について」
- ・ 講師：長野県北信地方事務所林務課 係長 萩原淳 氏

・参加者：149名

(3) 現地見学会・検討会（石川県白山市）

・平成28年9月15日～平成28年9月16日

・見学会：石川県の甚之助谷地区と湯の谷地区

・検討会：「甚之助谷地すべり事業の概要」

金沢河川国道事務所 流域対策課 課長 高橋至 氏

「甚之助谷地すべりの現況と対策について」

(一財)砂防・地すべり技術センター 斜面保全部技術課 課長代理 相楽渉 氏

「湯の谷地区の治山事業について」

石川森林管理署 治山グループ 総括治山技術官 宮本政澄 氏

手取川治山事業所 治山技術官 奥田努 氏

・参加者：47名

(4) 中部支部シンポジウム（TOiGO 長野市生涯学習センター）

・平成28年11月18日

・テーマ：「近年の突発的な斜面災害と二次災害対策」

・基調講演：「近年の大規模地震と地すべり研究の課題」

土木研究所 土砂管理研究グループ地すべりチーム 上席研究員 石井靖雄 氏

「地震による土砂災害と地震後の二次災害」

信州大学 農学部 教授 平松晋也 氏

・パネルディスカッション：「斜面災害事例から学ぶ教訓と対策」

～善光寺地震など地域での事例研究を踏まえて～

パネラー 土木研究所 上席研究員 石井靖雄 氏

静岡大学 農学部 教授 土屋智 氏

土木・環境しなの技術支援センター 理事 山浦直人 氏

長野県建設部 参事兼砂防課長 蒲原潤一 氏

コーディネーター (公社)日本地すべり学会 中部支部幹事 飯沼達夫 氏

・参加者：146名

(5) 中部支部ニュース発行 平成29年3月31日

(6) 幹事会

・平成28年4月13日：長野県土木センター、出席者：14名

・平成28年8月5日：長野県土木センター、出席者：18名

・平成28年10月7日：長野県土木センター、出席者：18名

・平成29年1月20日：長野県土木センター、出席者：12名

14. 関西支部

(1) 第1回運営委員会

①日時：平成28年4月1日

②場所：京都大学防災研究所 S—207D

③出席者：14名 委任状2名

④議事：

報告

平成27年度第2回運営委員会議事録

平成27年度支部事業報告（案）

平成27年度行事関係会計報告（案）

会誌「らんどすらいど」No.31

協賛会員名簿

平成27年度支部決算報告（案）

第55回研究発表会及び現地見学会について

その他

議題

平成28年度事業計画（案）

平成28年度予算計画（案）

その他

(2) 若手研究発表会

①日時：平成28年4月11日15:00～18:00

②場所：京都大学防災研究所

③参加者：20名

④講演者とタイトル

松原輝明（復建調査設計株式会社）

「平成21年7月以前に山口県防府市で発生した土石流の長期的発生頻度の一考察」

坂啓惟（日本工営株式会社）

「三波川帯における地すべり変動機構について」

常川善弘（株式会社相愛）

「地すべり対策アンカー工の維持管理調査事例について」

嘉茂美佐子（一般社団法人四国地質調査業協会高知支部）

「高知県の土砂災害防災教育について」

伊藤真一（大阪大学工学研究科）

「粒子フィルタを利用した土壌水分特性パラメータの逆解析」

永井瑞紀（復建調査設計株式会社）

「8.20 災害後の広島県の基礎調査について」

美馬健二（有限会社太田ジオリサーチ）

「「傷のある斜面は崩れない」という仮説に基づいた現地踏査による斜面の評価例」

土井一生（京都大学防災研究所）

「揺れない海岸地すべりの一例」

(3) 春のシンポジウム「土砂災害防災教育の最先端」開催

①日時：平成 28 年 4 月 12 日 10：00～17：00

②場所：大阪建設交流館

③主催：(公社) 日本地すべり学会関西支部

④後援：(公社) 砂防学会・(公社) 地盤工学会関西支部
(一社) 建設コンサルタンツ協会近畿支部

⑤参加者：61 名

⑥講演者とタイトル

・人口減少時代の新しい防災の姿

京都大学 牧紀男

・実験で学ぶ土砂災害

(株)藤井基礎設計事務所 藤井俊逸

・呉市斜面住宅地における防災教育

呉工業高等専門学校 加納誠二

・避難行動疑似体験教材 EVAG による地域防災の課題抽出

国土防災技術(株) 眞弓孝之

・地域住民に向けた防災教育の実践と 8.20 広島土砂災害後の被災者支援

一山コンサルタント 山下祐一

・パネルディスカッション「最先端の土砂災害防災教育とその限界」

司会 笹原克夫(高知大学) パネラー 話題提供者

(4) 関西支部 総会

①日時：平成 28 年 4 月 12 日 11:30～12:00

②場所：大阪建設交流館

③議題：平成 27 年度活動報告

平成 27 年度決算報告

平成 28 年度予算・活動計画

(5) 平成 28 年度現地見学会及び現地討論会「石川県白山市甚之助谷地区・湯の谷地区」

①日時：平成 28 年 9 月 15 日～9 月 16 日

②場所：白山国立公園センター、石川県白山市甚之助谷地区・湯の谷地区

③主催：(公社) 日本地すべり学会中部支部・関西支部

④参加者：14 名(中部支部から 26 名)

⑤講演者とタイトル

・中部支部からの情報提供

・甚之助谷地すべり事業の概要(金沢河川国道事務所担当者様)

・甚之助谷地すべりの現況と対策について(金沢河川国道事務所担当者様)

・湯の谷地区の治山事業について(石川森林管理署様)

・総合討論、質疑応答

(6) 第 2 回運営委員会

①日時：平成 28 年 11 月 4 日

②場所：京都大学防災研究所本館 セミナー室（S-207D）

③出席者：9名 委任状6名

④議事

報告

- ・平成28年度第1回運営委員会議事録
- ・平成28年度支部事業報告
シンポジウム
現地討論会
- ・行事関係会計
- ・平成28年度今後の事業予定
講習会「空間情報の利活用」
会誌「らんどすらいど」No.32
- ・運営委員選挙の結果報告

(7) 講習会

①日時：平成28年11月10日

②場所：合人社 ウェンディひと・まちプラザ（広島市 まちづくり市民交流プラザ）

③主催：（公社）日本地すべり学会関西支部

④後援：（一社）斜面防災対策技術協会 中国支部
（一社）建設コンサルタント協会 中国支部
（公社）地盤工学会 中国支部

⑤参加者：21名

⑥講演者：

災害情報の集約と可視化 - 防災分野へのGIS技術の利活用 -

（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門 内山庄一郎）

QGIS操作演習（国土防災技術（株）龍見栄臣）

オープンデータ+QGIS活用の可能性

演習Ⅰ：QGIS操作の基本

演習Ⅱ：QGISで地形解析をしてみよう！

演習Ⅲ：オープンデータとQGISで地図を作ろう！

(8) 「らんどすらいど32」会誌の発行・発送

①日時：平成29年1月29日

②執筆者とタイトル

- ・平成25年7月島根県と山口県の県境における激甚土砂災害の調査報告
汪発武・谷田佑太・桑田庸平・新満亮介・呉映昕（島根大学）
- ・地すべりの発生年代に関する既存の研究
西山賢一（徳島大学）

15. 九州支部

(1) 支部幹事会

- ・開催日：平成 28 年 5 月 27 日 10：00～11：30
- ・会場：福岡市（ハイアットリージェンシー福岡）
- ・参加者：25 名

(2) 支部総会

- ・開催日：平成 28 年 5 月 27 日 11：40～12：30
- ・会場：福岡市（ハイアットリージェンシー福岡）
- ・参加者：30 名

(3) 支部学術講演会

- ・開催日：平成 28 年 11 月 24 日 13：00～18：00
- ・会場：沖縄県北谷町（ヒルトン沖縄北谷リゾート）
- ・主催：（公社）日本地すべり学会九州支部
- ・共催：（一社）斜面防災対策技術協会九州支部、九州地区地すべり防止工事士会
- ・後援：沖縄総合事務局、沖縄県
- ・参加者：80 名
- ・講演：与那嶺淳（国土交通省九州地方整備局）、ほか 9 件

基調講演

「熊本地震において発生した土砂災害について－九州地方整備局の対応と土砂災害の事例－」
与那嶺淳（国土交通省九州地方整備局河川部河川計画課建設専門官）

熊本地震現地調査報告

「平成 28 年熊本地震に伴って発生した地すべり・崩壊と被害状況」
中村真也（琉球大学農学部）

「GIS による平成 28 年熊本地震で発生した阿蘇地域の斜面崩壊の特徴について」
岩部司（熊本高等専門学校）

一般講演

「沖縄、島尻泥岩すべりの安定解析とせん断強度定数の適用例」
比嘉優（（株）南城技術開発）

「実効雨量による崩壊性地すべりの発生と危険度評価の試み」
上原弓奈（琉球大学大学院農学研究科）、中村真也（琉球大学農学部）

「沖縄県における急傾斜地崩壊防止施設長寿命化計画の現状と課題」
安里拓（（株）興洋エンジニアリング）

「維持管理におけるアンカーのり面の荷重管理事例について」
常川善弘、松田誠司（（株）相愛）、酒井俊典（三重大学大学院）

「鹿児島県深港地区の調査事例」
本田信孝（（株）日本地下技術）

「国道 331 号災害対策工時で行った落石対策について」
井上英将（（株）南城技術開発）

総合討論

～よりよい防災・減災に向けて～

(4) 2016 年熊本地震関連土砂災害現地調査

第一回

- ・実施日：平成 28 年 5 月 3 日～5 日
- ・箇所：熊本市、西原村、南阿蘇村ほか
- ・参加者：学会員（支部所属）、熊本県職員等 9 名

第二回

- ・実施日：平成 28 年 9 月 13 日～15 日
- ・箇所：熊本市、西原村、南阿蘇村ほか
- ・参加者：学会員（支部所属）、熊本県職員、防災科学研究員、大学生等 13 名

事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特にないため、附属明細書は作成しない。